ムスリムになりたいのだけど、でも イスラ ム改宗についてのよくある

:

明:神はイスラ ムへの改宗を しいものではなく、容易なものとされました。

目:事イスラ ムへ改宗するにはイスラ ムへ改宗し、ムスリムになるには

より: ア イシャ ステイシ

⊞23 Mar 2015

集日 23 Mar 2015

イスラ ムにおいて最も根本的な信仰は、「アッラ 以外に真の神は存在しない」というものです。唯一 二かつ最初で最 の御方である唯一の神アッラ は、同位者 子女 仲介者などを けません。神のみに主 と全能性が属します。それは、至 シンプルな概念であり真です。しかしながら、神への な信仰でさえも、ときには 倒されてしまうことがあります。私たちは神へ祈った直 にその祈りが答えられ、 かされるようなことがしばしばあります。

イスラ ムという宗教は、そうした な概念を含有します。つまり、神は唯一であり、神 への服 が不可分だということです。イスラ ムという は「神の御心への服 」を意味して います。イスラ ムというアラビア の の 根は、平和 安 を意味する の 根(サ ラ マ)を共に します。本 的に、平和と安 は人生を神の御心に わせることによってもたらされるもの です。人生の のように、それは常に同じ 所で始まり、同じ 所で わります。アッラ 以外 に神はありません。神の御心に うと、私たちはムスリムとしての さを「ラ イラ ハ イッ ラッラ 、ムハンマドッラス ルッラ (アッラ 以外に真の神はなく、ムハンマドはアッラ の使徒である)」という言 によって します。

神の慈悲を し、理解する者に し、サタンは であれ危害を加えようと みます。サタンは 私たちが安らぎや慈悲を感じることを望まず、心配や 感を抱くことを望んでいます。 サタンは私たちが ちや罪を犯すことを望むのです。サタンは自身が神の慈 を与えられ

ることを めており、それゆえに出来る限り多くの人 が腐 することを望んでいます。

真理を してムスリムになりたいと う人に し、サタンは「でも 」という言 を吹 します。「私はムスリムになりたいですが、でも 」というものを代表的に、「でも、 ができていません。」「でも、アラビア が せません。」「でも、私(の国籍 人)は 人です。」「でも、イスラ ムについてよく理解できていません。」など理由は 々です。神は、サタンの巧妙な手口について警告しています。

魔による きかけは、イスラ ム改宗を阻もうとする みに ぎません。それによる思い みから、最も慈悲深き御方である神とのつながりを邪魔されるべきではありません。このでは、最もよくある 解について考察していきたいと思います。神は最も慈悲深き御方であり、かれはイスラ ム改宗を しいものではなく、容易なものとされました。「でも」と言う必要はないのです。

1.ムスリムになりたいのですが、改名したくありません。

イスラ ムに改宗する は、名前まで える必要はありません。 言者ムハンマド(神の慈悲と祝福あれ)は、あらゆる人には良い意味や性 のある名前をつけてもらう 利があると述べています。大半の人にとってそれは ではありませんが、もし自分の名前に い意味が められていたり、罪人 抑 者との がある 合は、より められやすい名前に 更することが推 されています。 かの名前が偶像 他宗教の神々と同じもの、もしくは神以外への奉仕を意味するものなのであれば、それは 更されなければなりません。ただし、イスラ ムは容易なものであるということを忘れてはなりません。正式な改名が困 だったり、精神的苦痛や他者からの危害を伴うのであれば、家族内や知り合い同士の で えるだけで十分です。

2. ムスリムになりたいのですが、アラビア が全く分かりません。

イスラ ムはあらゆる 代、あらゆる土地のあらゆる人々に 示された宗教です。それは、アラブ人やアラビア 者に独占された宗教などではありません。事 、世界中の14 人のムスリムの大多数はアラブ人ではありません。人はアラビア の を全く知らずともムスリムになることができます。それはイスラ ムを受け入れる能力を阻害するものではないのです。しかし、クルア ンの言 はアラビア であり、日 の礼 もアラビア によって行われるため、言 全体を学ぶ必要はないものの、改宗 はある程度のアラビア を知る必要はあります。

礼 に必要とされるアラビア を、言 障害により えることができなかったり、アラビア を上手く 音できない 合、可能な限りにおいてそれを みることが必要です。神は各人の能力以上のものを されたりはしないため、一部のアラビア さえ学ぶことができない 合、その は免除されます。しかしながら、神はクルア ンの学 を容易なものとされたと述べられているため、人はそれに して最善を尽くすことが求められています。

"???????????????????????????54:17?

ある人物が 言者のもとを れてこう言っています。「神の使徒よ、私は むことができないため、私にとって十分となるクルア ンを教えて下さい。」彼はこう答えました。「言いなさい。『スブハ ナッラ 、ワルハムドゥリッラ 、ワラ イラ ハ イッラッラ 、ワッラフ アクバル、ワラ ハウラ ワラ クウワタ イッラ ビッラ (神はあらゆる不完全性から く隔たれた御方。神に えあれ。アッラ 以外に神はなく、神は 大なり。神以外による力と さはなし。)』」1

イスラ ムの入信は です。それは、 な手 きからは な な手 によるものです。第2回では割礼 について、そしてイスラ ムの入信には民族的 人 的な 制がないこと、またイスラ ムにつ いて殆ど知らない人による入信について ていきます。

アブ ダウド、ナサイ

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/4360

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2024 IslamReligion.com. 断 を禁じます。